

会 議 録

会議の名称	令和7年度 第6回 藤岡地域会議
開催日時	令和7年10月28日 午後6時30分開会・午後7時52分閉会
開催場所	藤岡総合支所旧議会棟 会議室
出席者氏名	別紙1のとおり
欠席者氏名	別紙1のとおり
事務局職員職氏名	別紙1のとおり
その他出席者等	別紙1のとおり
会議事項	(1) 令和7年度栃木市地域自治交流会の開催について (2) 地域予算提案事業について (3) その他
会議の公開又は 非公開の別	公開
傍聴人の数	無し
その他必要事項	無し
会議の経過	
発言者	議題・発言内容・決定事項
○事務局	1 開会 ○ あいさつ 飯塚会長よりあいさつがあった。 2 議事 (1) 令和7年度栃木市地域自治交流会の開催について【資料1】 飯塚会長、葛生委員、櫻井委員が参加することに決まった。 都合により、五月女委員に願います。 (2) 地域予算提案事業について【資料2、資料3】 <説明> 前回、前々回と地域課題や魅力の中から部会で話し合った内容や、市の取り組み状況についてまとめた。徐々に精査し事業を具体化していきたいので、優先検討事項について部会で話し合っていきたい。
◎会長	報告、検討事項だが、9月に地域全体の会長が集まって地域予算事業の発表があり、スタントマンによるスケアードストレート方式の交通安全教室を実施している地域が多かった。藤岡でも実施を検討していくのはどうか。中学生と、高齢者、婦人会等の団体で年度ごとに実施していくこともできるため、検討事項として考えていきたい。 <部会検討結果> ・第1部会
◎A委員	歴史、伝統、文化の継承としては、「わたらせ寄席」のような事業の継続。地

◎B 委員	域の歴史ツアーとして、現地見学や講演会、語り部を有効利用していくという意見がでた。 遊水地の有効利用としては、ハートランド城にてカフェやイベントの実施、ドッグランの意見が出た。 ・第2 部会 少子高齢化や、歴史文化を学ぶ機会として、藤岡の魅力について短期（3 回）・中期・長期（2 年）に分けて講座を行うことで、藤岡の良さを感じ子どもたちも藤岡に戻ってくるのではないかと考えた。具体例として、上毛カルタ、佐野カルタのような藤岡の魅力や歴史が分かるカルタの作成、カルタを通した学び機会の創出の意見も出た。 防災対策としては、子どもたちに避難所体験としてお泊りするという意見もあったがハードルが高いため、レクリエーションを組み合わせる昼間レク、夜に暗くなったら避難所体験をする。また、AED の使用方法、消火器体験、応急処置等の救急救命を学んだり、募集の仕方も工夫していくという意見も出た。ハード面で、防災やイベントで使用できるテントが藤岡にあってもよいと思う。
○事務局	3 その他 事務局から以下の3 点について連絡した。 ・「地域会議だより」の掲載見送りについて ・「第5 回地域会議会議録の写し」について ・「わたらせ寄席」参加依頼について 次回の地域会議は、令和7 年1 1 月2 5 日（火）1 8 時3 0 分から、同会場で行う予定である旨を連絡した。 4 閉会 午後7 時5 2 分をもって第6 回藤岡地域会議を閉会する旨を宣言した。

別紙1 出席者及び事務局職員

出席者（委員）

会 長 飯 塚 和 男
委 員 青 山 桂 子
委 員 櫻 井 康 人
委 員 五月女 政 子
委 員 前 田 智 史
委 員 阿 部 多佳子
委 員 高 際 はま子

副会長 葛 生 明 雄
委 員 石 川 裕 章
委 員 瀬 下 整
委 員 長 竹 香 織
委 員 横 田 敦 子
委 員 川 田 優 子

欠席者（委員）

委 員 池 田 奨 平

委 員 高 橋 梨 沙

出席者（事務局）

地域振興部藤岡地域づくり推進課

安 塚 欣 也（地域づくり推進課長） 高 久 充 弘（課長補佐兼地域づくり推進係長）

津布久 沙 織（地域づくり推進係主任）